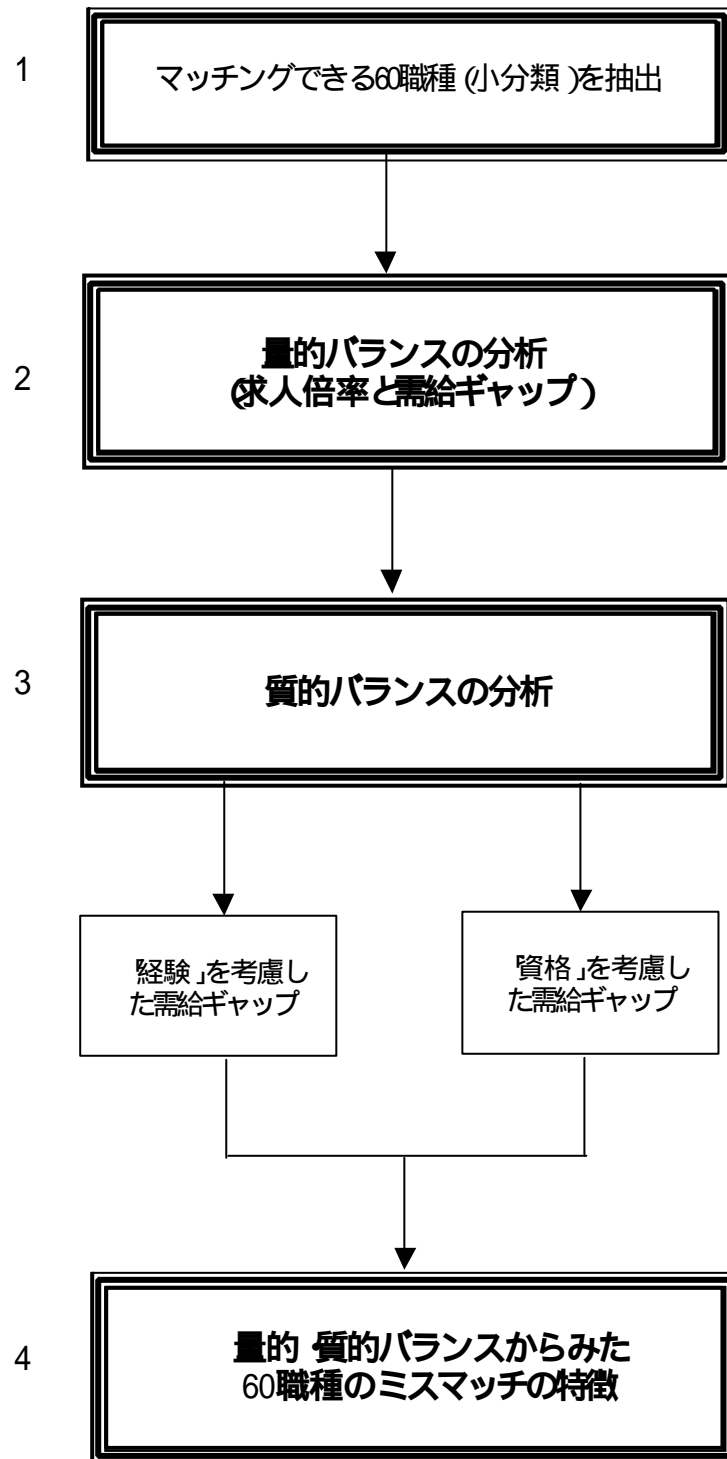


. 質・量両面からのミスマッチの状況

・ 質・量両面からのミスマッチの状況

< 分析のフロー >



1.人材の量的ミスマッチの状況

全 60 職種のうち、半分以上の 33 職種について求人が求職を下回り、求人が不足している状態となっている。

求人倍率が高い職種は、営業系職種の他、設計や IT 関連など主に専門職・技術職であり、高度な能力を持つ専門的な人材へのニーズが高い。一方、企画職・管理職等、必要な能力・スキルが必ずしも明確ではないホワイトカラー系職種では、求人倍率が低い。

求人・求職の全体像をみると、全 60 職種のうち、半分以上の 33 職種について求人が求職を下回り、求人が不足している状態（人材過剰）となっている。また、27 職種については求人が求職を上回り、人材不足となっている。（図表 - 1、2）

図表 - 1 人材過剰（求人＜求職）の職種【33 職種】

| | | | |
|-----------------|-------------------------|---------------------|-------------------------|
| 001 家政婦・ホームヘルパー | 012 貿易事務 | 041 意匠設計 | 058 キャラクター、CGデザイナー |
| 002 管理職（技術系） | 014 商品管理 | 043 電気設備設計 | 059 グラフィック、エディトリアルデザイナー |
| 003 管理職（事務系） | 015 医療事務 | 045 開発職（ソフトウェア関連職） | 060 経営・会計コンサルタント |
| 005 管理職（サービス系） | 016 企画 | 047 ビジネスアプリケーション系SE | |
| 006 店長 | 018 マーケティング | 048 データベース系SE | 以上 33 職種 |
| 007 総務 | 019 商品開発 | 051 プログラム | |
| 008 経営企画 | 020 商品企画 | 052 サポートエンジニア（ソフト） | |
| 009 営業事務 | 029 研究開発（電気・電子） | 053 通信・ネットワークエンジニア | |
| 010 管理事務 | 030 研究開発（機械） | 055 WEBコンテンツ企画・製作 | |
| 011 国際業務 | 038 技術開発（建築・土木・プラント・設備） | 057 公認会計士、税理士など | |

図表 - 2 人材不足（求人＞求職）の職種【27 職種】

| | | |
|---------------------|-------------|----------------|
| 004 管理職（営業系） | 028 食品技術者 | 042 プラント設計 |
| 013 業務 | 031 電気回路設計 | 044 CAD設計 |
| 017 販売促進 | 032 機械設計 | 046 コンサルティングSE |
| 021 営業（法人新規） | 033 機械設計 | 049 制御系SE |
| 022 営業（法人固定） | 034 電気通信技術者 | 050 ネットワーク系SE |
| 023 営業（個人新規） | 035 制御設計 | 054 画像処理 |
| 024 営業（個人固定） | 036 金型設計 | 056 薬剤師 |
| 025 セールスエンジニア | 037 化学技術者 | |
| 026 研究開発（バイオテクノロジー） | 039 建築設計 | |
| 027 水産技術者 | 040 土木設計 | 以上 27 職種 |

求人倍率では「021 営業(法人新規)」が9.95倍で最も高く、それに「022 営業(法人固定)」(7.51倍)、「004 管理職(営業系)」(7.09倍)が続いている。営業系職種は総じて求人数が求職数を大きく上回っており、求人倍率を押し上げている。

また、「031 電気回路設計」(3.04倍)、「032 機械設計」(2.88倍)等の設計関係職種も3倍前後の高水準を示している。

その他、求人倍率が2倍に近く高めになっている職種は「034 電気通信技術者」(1.88倍)、「039 建築設計」(1.71倍)、「054 画像処理」(1.83倍)、「049 制御系SE」(1.55倍)などの技術関係職種であり、いわゆるIT関連の職種が多くみられる。(図表 - 3)

一方、求人倍率がゼロに近い職種には、「015 医療事務」の他、「019 商品開発」「020 商品企画」「005 管理職(サービス系)」など、企画職・管理職等のホワイトカラー系職種が多い。(図表 - 4)

図表 - 3 求人倍率の高い職種 (求人倍率 1.0 倍以上)

(単位:人)

| 職 種 | 需要(求人) ニーズ | 供給(求職) ニーズ | 需給ギャップ (供給 - 需要) | 求人倍率 |
|----------------|---------------|---------------|---------------------|------|
| 021 営業(法人新規) | 99,535 | 10,000 | 89,535 | 9.95 |
| 022 営業(法人固定) | 45,037 | 6,000 | 39,037 | 7.51 |
| 004 管理職(営業系) | 14,189 | 2,000 | 12,189 | 7.09 |
| 024 営業(個人固定) | 11,252 | 2,000 | 9,252 | 5.63 |
| 023 営業(個人新規) | 58,362 | 11,000 | 47,362 | 5.31 |
| 025 セールスエンジニア | 28,522 | 6,000 | 22,522 | 4.75 |
| 013 業務 | 6,290 | 2,000 | 4,290 | 3.15 |
| 031 電気回路設計 | 6,073 | 2,000 | 4,073 | 3.04 |
| 032 機械設計 | 14,382 | 5,000 | 9,382 | 2.88 |
| 044 CAD設計 | 13,244 | 7,000 | 6,244 | 1.89 |
| 034 電気通信技術者 | 5,647 | 3,000 | 2,647 | 1.88 |
| 054 画像処理 | 5,493 | 3,000 | 2,493 | 1.83 |
| 039 建築設計 | 28,996 | 17,000 | 11,996 | 1.71 |
| 040 土木設計 | 7,941 | 5,000 | 2,941 | 1.59 |
| 049 制御系SE | 7,734 | 5,000 | 2,734 | 1.55 |
| 046 コンサルティングSE | 10,812 | 7,000 | 3,812 | 1.54 |
| 017 販売促進 | 19,333 | 17,000 | 2,333 | 1.14 |
| 050 ネットワーク系SE | 12,965 | 12,000 | 965 | 1.08 |

図表 - 4 求人倍率の低い職種 (下位 10)

(単位 :人)

| 職 種 | 需要 (求人) ニーズ | 供給 (求職) ニーズ | 需給ギャップ (供給 - 需要) | 求人倍率 |
|--------------------|----------------|----------------|---------------------|------|
| 015 医療事務 | 1,374 | 25,000 | 23,626 | 0.05 |
| 019 商品開発 | 1,928 | 29,000 | 27,072 | 0.07 |
| 020 商品企画 | 4,386 | 53,000 | 48,614 | 0.08 |
| 005 管理職 (サービス系) | 1,130 | 11,000 | 9,870 | 0.10 |
| 018 マーケティング | 3,839 | 36,000 | 32,161 | 0.11 |
| 001 家政婦 ホームヘルパー | 5,830 | 33,000 | 27,170 | 0.18 |
| 002 管理職 (技術系) | 6,741 | 38,000 | 31,259 | 0.18 |
| 058 キャラクター、CGデザイナー | 3,908 | 22,000 | 18,092 | 0.18 |
| 030 研究開発 (機械) | 3,132 | 15,000 | 11,868 | 0.21 |
| 016 企画 | 8,246 | 38,000 | 29,754 | 0.22 |

需給ギャップの規模の大小についてみると、需要が供給を上回り、ギャップの規模が大きいものとしては、「022 営業 (法人新規)」があり、その大きさは約 9 万人にのぼる。これに「023 営業 (個人新規)」の 5 万人弱、「022 営業 (法人固定)」の約 4 万人が続き、営業系職種で大きな供給不足が生じている。

また、「039 建築設計」「032 機械設計」などで 1 万人程度、「046 コンサルティング SE」「049 制御系 SE」でも需要に供給が追いついていない。(図表 - 5)

逆に、求人数よりも求職者数の方が多く、そのギャップの規模が最も大きい職種は「020 商品企画」であり、供給が約 5 万人上回っている。それに続いて 3 万人前後で大きい職種には「018 マーケティング」「002 管理職 (技術系)」「016 企画」など、企画職・管理職等のホワイトカラー系職種が多くみられる。(図表 - 6)

なお、今回調査で用いた 60 職種全体の求人数は約 69 万人、求職者数は約 74 万人、求人倍率は 0.93 倍となっている。

図表 - 5 供給(求職)が需要(求人)よりも少ない職種【7職種】

(単位:人)

| 職 種 | 需要(求人) ニーズ | 供給(求職) ニーズ | 需給ギャップ (供給 - 需要) | 求人倍率 |
|---------------------|---------------|---------------|---------------------|------|
| 021 営業(法人新規) | 99,535 | 10,000 | 89,535 | 9.95 |
| 023 営業(個人新規) | 58,362 | 11,000 | 47,362 | 5.31 |
| 022 営業(法人固定) | 45,037 | 6,000 | 39,037 | 7.51 |
| 025 セールスエンジニア | 28,522 | 6,000 | 22,522 | 4.75 |
| 004 管理職(営業系) | 14,189 | 2,000 | 12,189 | 7.09 |
| 039 建築設計 | 28,996 | 17,000 | 11,996 | 1.71 |
| 056 薬剤師 | 10,795 | 0 | 10,795 | - |
| 037 化学技術者 | 10,583 | 0 | 10,583 | - |
| 032 機械設計 | 14,382 | 5,000 | 9,382 | 2.88 |
| 024 営業(個人固定) | 11,252 | 2,000 | 9,252 | 5.63 |
| 044 CAD設計 | 13,244 | 7,000 | 6,244 | 1.89 |
| 035 制御設計 | 5,170 | 0 | 5,170 | - |
| 027 水産技術者 | 4,580 | 0 | 4,580 | - |
| 013 業務 | 6,290 | 2,000 | 4,290 | 3.15 |
| 031 電気回路設計 | 6,073 | 2,000 | 4,073 | 3.04 |
| 046 コンサルティングSE | 10,812 | 7,000 | 3,812 | 1.54 |
| 036 金型設計 | 3,645 | 0 | 3,645 | - |
| 028 食品技術者 | 3,455 | 0 | 3,455 | - |
| 033 メカトロ設計 | 3,042 | 0 | 3,042 | - |
| 040 土木設計 | 7,941 | 5,000 | 2,941 | 1.59 |
| 042 プラント設計 | 2,825 | 0 | 2,825 | - |
| 026 研究開発(バイオテクノロジー) | 2,808 | 0 | 2,808 | - |
| 049 制御系SE | 7,734 | 5,000 | 2,734 | 1.55 |
| 034 電気通信技術者 | 5,647 | 3,000 | 2,647 | 1.88 |
| 054 画像処理 | 5,493 | 3,000 | 2,493 | 1.83 |
| 017 販売促進 | 19,333 | 17,000 | 2,333 | 1.14 |
| 050 ネットワーク系SE | 12,965 | 12,000 | 965 | 1.08 |

図表 - 6 供給(求職)が需要(求人)よりも多い職種(ギャップの大きい職種10)

(単位:人)

| 職 種 | 需要(求人) ニーズ | 供給(求職) ニーズ | 需給ギャップ (供給 - 需要) | 求人倍率 |
|--------------------|---------------|---------------|---------------------|------|
| 020 商品企画 | 4,386 | 53,000 | 48,614 | 0.08 |
| 018 マーケティング | 3,839 | 36,000 | 32,161 | 0.11 |
| 002 管理職(技術系) | 6,741 | 38,000 | 31,259 | 0.18 |
| 016 企画 | 8,246 | 38,000 | 29,754 | 0.22 |
| 001 家政婦・ホームヘルパー | 5,830 | 33,000 | 27,170 | 0.18 |
| 019 商品開発 | 1,928 | 29,000 | 27,072 | 0.07 |
| 015 医療事務 | 1,374 | 25,000 | 23,626 | 0.05 |
| 058 キャラクター、CGデザイナー | 3,908 | 22,000 | 18,092 | 0.18 |
| 045 開発職(ソフトウェア関連職) | 8,390 | 26,000 | 17,610 | 0.32 |
| 060 経営・会計コンサルタント | 9,223 | 24,000 | 14,777 | 0.38 |

２．人材の質的ミスマッチの状況

（１）実務経験についてのミスマッチ

一定の実務経験を必要とする求人は、全体の 59.7%であり、実務経験に対するニーズは相当高いといえる。特に、設計や IT 関連等の専門職・技術職を中心に実務経験のニーズが高い。一方で、実際に実務経験を有する者の比率は、20.5%と全体に不足している。

なお、量的に求人が非常に多くなっている営業職では、必ずしも実務経験が求められていないという傾向が認められる（営業職の実務経験者の必要比率：23.7%～47.4%）。

実務経験が必要な割合は、最も高い職種では 90%を超えるが、低い職種は 1 割強と、幅広く分布し、60 職種の平均は、59.7%となっている。一方、実務経験者の比率は、60 職種平均で 20.5%にとどまる。

実務経験必要比率が高い職種は、「042 プラント設計」「050 ネットワーク系 SE」「049 制御系 SE」「037 化学技術者」など、設計・技術専門職や IT 系技術者が上位を占める。（図表 - 7）

一方、実務経験必要比率が低い職種は、「027 水産技術者」「014 商品管理」「008 経営企画」等である。（図表 - 8）

なお、量的に求人が非常に多くなっている営業職では、実務経験者の必要比率が 23.7%～47.4%と、いずれも全体の平均（59.7%）を下回っており、必ずしも実務経験が求められていないという傾向が認められる。

図表 - 7 実務経験を必要とする職種 (上位 10) と実務経験者比率

(%)

| 職 種 | 実務経験 必要比率 | 実務経験者 比率 |
|---------------------|--------------|-------------|
| 平均 | 59.7% | 20.5% |
| 042 プラント設計 | 94.2% | - |
| 050 ネットワーク系SE | 91.8% | 0.0% |
| 049 制御系SE | 89.5% | 40.0% |
| 037 化学技術者 | 87.0% | - |
| 020 商品企画 | 84.5% | 0.0% |
| 033 メカトロ設計 | 83.6% | - |
| 032 機械設計 | 80.7% | 0.0% |
| 047 ビジネスアプリケーション系SE | 79.7% | 26.3% |
| 044 CAD設計 | 79.2% | 57.1% |
| 012 貿易事務 | 78.8% | 0.0% |

図表 - 8 実務経験を必要とする職種 (下位 10) と実務経験者比率

(%)

| 職 種 | 実務経験 必要比率 | 実務経験者 比率 |
|--------------------------|--------------|-------------|
| 027 水産技術者 | 13.1% | - |
| 014 商品管理 | 19.2% | 42.9% |
| 008 経営企画 | 22.3% | 0.0% |
| 023 営業 (個人新規) | 27.3% | 27.3% |
| 024 営業 (個人固定) | 27.9% | 0.0% |
| 056 薬剤師 | 29.7% | - |
| 038 技術開発 (建築・土木・プラント・設備) | 29.8% | 80.0% |
| 028 食品技術者 | 33.8% | - |
| 022 営業 (法人固定) | 38.0% | 83.3% |
| 018 マーケティング | 40.8% | 0.0% |

注) サンプル数が10未満の場合は - を表示している

(2) 資格についてのミスマッチ

資格を必要とする求人は 43.2%であり、全体としては必ずしも資格にこだわらないという傾向がみられる。ただし、国際関連業務（語学検定など）や薬剤師や公認会計士、IT 関連（情報処理技術者試験など）等の高度な専門職・技術職を中心に、資格に対するニーズが高い。一方で、求人側が求める資格を保有している人材の比率は 18.2%と低く、相当不足気味である。

なお、企画関連職種のように固有業務が必ずしも明確でないと考えられる職種では、資格に対するニーズが低い。また、技術・設計関連職種においては、資格に対するニーズが高いものと低いものの両方があり、職種によってややばらつきがある。

資格が必要な割合は、最も高い職種では 9 割に近いが、低い職種は 1 割以下と幅広く分布し、60 職種の平均は、43.2%である。一方、資格保有者の比率は、60 職種平均で 18.2%となっている。

資格必要比率が高い職種は、「011 国際業務」「056 薬剤師」「057 公認会計士、税理士など」等の専門職とともに、「037 化学技術者」「043 電気設備設計」等の技術職となっている。（図表 - 9）

資格必要比率が最も低い職種は、「029 研究開発（電気・電子）」で、以下「008 経営企画」「020 商品企画」「041 意匠設計」と続いている。企画関連職種のように固有業務が必ずしも明確でないと考えられる職種では、資格に対するニーズが低いという傾向がみられる。（図表 - 10）

なお、技術・設計関連職種においては、資格に対するニーズが高いものと低いものの両方があり、職種によってややばらつきがある。

図表 - 9 資格を必要とする職種 (上位 10) と資格保有者比率

(単位 :%)

| 職 種 | 資格保有者 比率 | 資格充足者 比率 |
|---------------------|-------------|-------------|
| 平均 | 43.2% | 18.2% |
| 011 国際業務 | 87.9% | 4.7% |
| 056 薬剤師 | 82.1% | - |
| 057 公認会計士、税理士など | 81.6% | 0.4% |
| 037 化学技術者 | 78.8% | - |
| 043 電気設備設計 | 76.2% | 96.5% |
| 039 建築設計 | 73.5% | 54.3% |
| 040 土木設計 | 69.6% | 0.2% |
| 047 ビジネスアプリケーション系SE | 66.7% | 37.5% |
| 012 貿易事務 | 66.2% | 0.0% |
| 053 通信・ネットワークエンジニア | 65.7% | 0.0% |

図表 - 10 資格を必要とする職種 (下位 10) と資格保有者比率

(単位 :%)

| 職 種 | 資格保有者 比率 | 資格充足者 比率 |
|----------------------|-------------|-------------|
| 029 研究開発 (電気・電子) | 6.6% | 0.7% |
| 008 経営企画 | 8.6% | 0.0% |
| 020 商品企画 | 11.0% | 0.5% |
| 041 意匠設計 | 12.1% | 3.7% |
| 026 研究開発 (バイオテクノロジー) | 15.1% | - |
| 036 金型設計 | 16.9% | - |
| 018 マーケティング | 18.1% | 0.0% |
| 014 商品管理 | 18.1% | 2.9% |
| 028 食品技術者 | 18.7% | - |
| 013 業務 | 22.9% | 33.1% |

3．人材の量・質両面からのミスマッチの状況

(1)「量」と「実務経験」の面からみたミスマッチの状況

「量」と「実務経験」の面で求人ニーズを満足できる職種は、国際業務やソフトウェア開発、WEB コンテンツ企画・製作等の一部の IT 関連職種の 10 職種のみである。

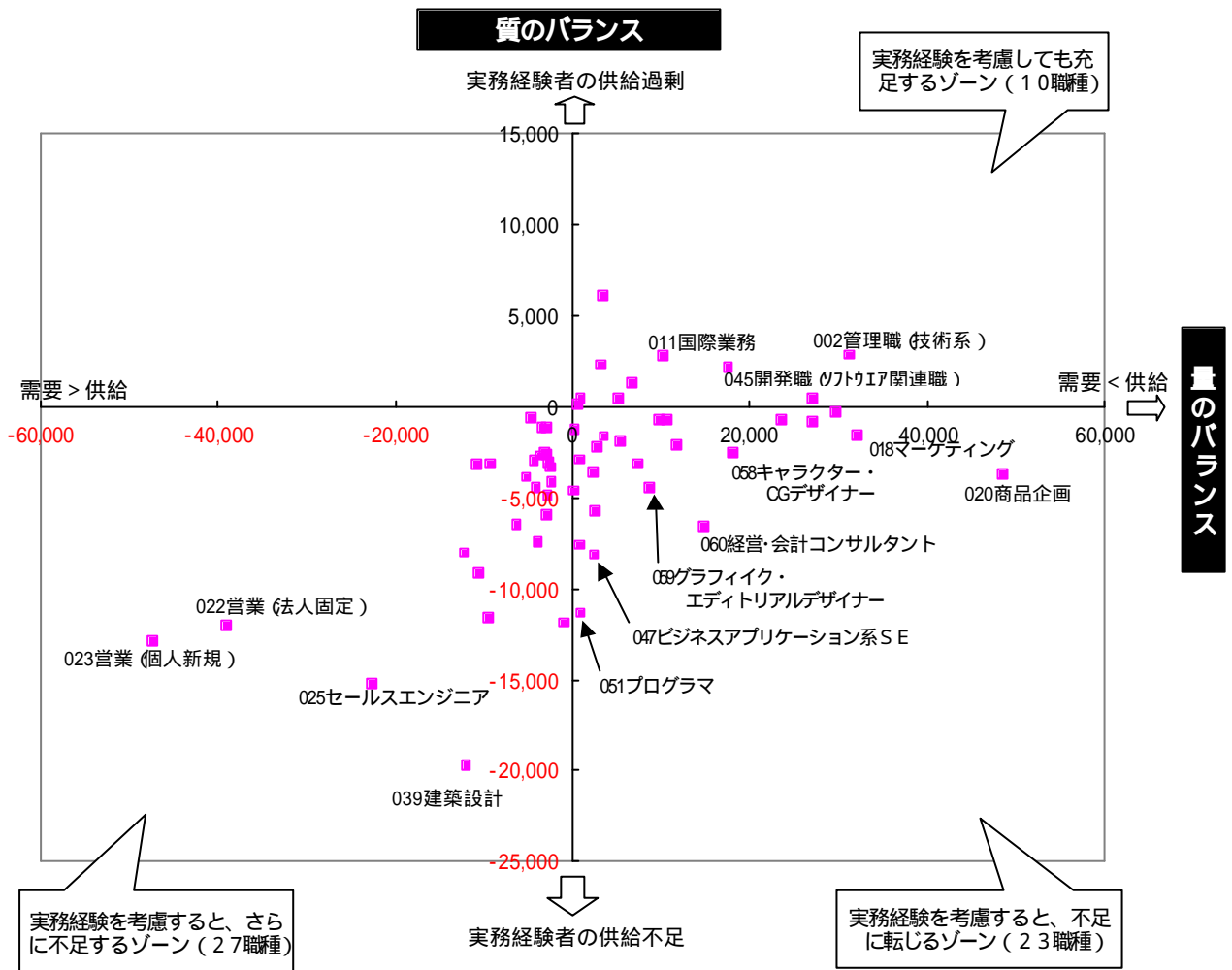
雇用ミスマッチの状況を、これまでみてきた量的な需給関係に加えて質的な側面からもとらえるために、企業が求める実務経験者数と求職（供給）側における実務経験者数を比較し、需給ギャップをみた。

前項までみてきた需給ニーズ量の関係をグラフの x 軸に、質的側面として求人側が求める実務経験者の充足状況を y 軸に置き、質と量のギャップを同時にとらえた結果が図表 11 である。

これをみると、量の面では求職者が過剰であっても、実務経験者は不足している職種は 60 職種中 23 職種にのぼり、「051 プログラマ」や「047 ビジネスアプリケーション系 SE」「048 データベース系 SE」といった IT 関連職種の他、「060 経営・会計コンサルタント」「059 グラフィック、エディトリアルデザイナー」「020 商品企画」「018 マーケティング」といった職種がある。

量的にも実務経験の面でも求職者数が求人数を上回る職種は、「022 管理職（技術系）」「011 国際業務」「045 開発職（ソフトウェア関連職）」「055 WEB コンテンツ企画・製作」等の 10 職種に過ぎない。

図表 - 11 需要と実務経験者の過不足状況



*021 営業(法人新規)は質・量ともに大幅なマイナスなので図に表示していない。
 注) 実務経験者ニーズと実務経験保有者のギャップの算出手順は、調査概要を参照。

(2)「量」と「資格」の面からみたミスマッチの状況

「量」と「資格」の面で求人ニーズを満足できる職種はゼロであり、求人側が求める資格を求職者側が十分に獲得できていない状況にある。

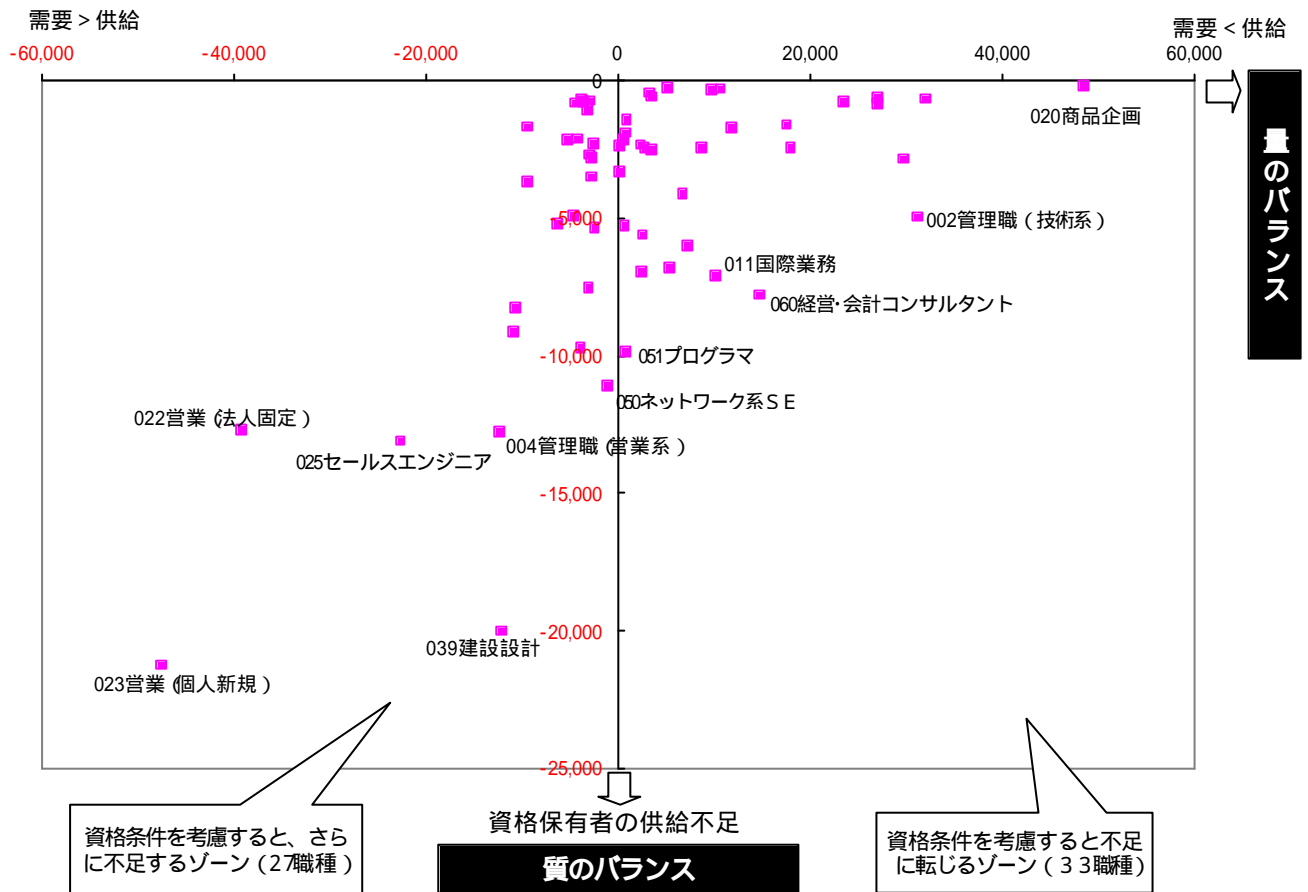
前述の実務経験者と同様の趣旨で、企業が求める資格保有者数全体と実際にその資格条件を充足している人材の数を比較するため、ここでも実務経験者と同様、x 軸に需給ニーズ量、y 軸に資格保有者の充足状況を置いたグラフを作成した（図表 - 12）。

それによると、需要ニーズが量的に充足され、企業が求める資格保有者数も充足されている職種はゼロである。

また、求人ニーズが量的に充足されず、企業が求める資格保有者も充足されていない職種は 27 職種にのぼる（グラフ左）。具体的には、「021 営業（法人新規）」「023 営業（個人新規）」等の営業系職種の他、「039 建築設計」「031 電気回路設計」等の設計関係職種や「050 ネットワーク系 SE」「046 コンサルティング SE」等の IT 関連職種である。

一方、量的には充足しているが資格保有者が不足している職種は 33 職種にのぼる（同右）。具体的にみると、「060 経営・会計コンサルタント」といった高度専門職のほか、「051 プログラマ」「047 ビジネスアプリケーション系 SE」といった IT 関連職種、「011 国際業務」「002 管理職（技術系）」といったホワイトカラー系の職種がみられる。

図表 - 12 需要と資格保有者の過不足状況



*021 営業 (法人新規) は質・量ともに大幅なマイナスなので図に表示していない。
 注) 資格保有者ニーズと資格条件充足者のギャップの算出手順は、調査概要を参照。

(3) 「量」・「質」両面からみたミスマッチの状況

量的にも、実務経験、資格の上でも、求人ニーズを満足し、量・質両面から十分な人材の獲得が可能と考えられる職種はゼロである。すなわち、量・質両面を考慮すると、人材が供給過剰の状態といえる職種はゼロである。

これまでみてきた「量」と「実務経験」、「資格」の面における結果を整理したものが、図表 - 13 である。

量的にも、実務経験、資格の上でも、求人ニーズを満足し、量・質両面から十分な人材の獲得が可能と考えられる職種はゼロである。(パターン)

また、実務経験・資格は十分ではないが、量的には求人ニーズを満足できるだけの人材が存在すると考えられる職種は、企画職・管理職のようなホワイトカラー系職種をはじめ、高度な能力・スキルを必要とする SE (一部)、CG デザイナー、経営・会計コンサルタント等の 23 職種である。(パターン)

「量」と「実務経験」の面で求人ニーズを満足できる職種は、国際業務や、ソフトウェア開発、WEB コンテンツ企画・製作等の一部の IT 関連職種の 10 職種のみである。(パターン)

「量」と「資格」の面で求人ニーズを満足できる職種はゼロであり、求人側が求める資格を求職側が十分に獲得できていない状況にある。(パターン)

なお、量的にも、実務経験・資格の上でも十分な人材がおらず、量・質両面から人材不足となっている職種は、営業、セールスエンジニア、電気・機械等の設計、ネットワーク系 SE 等の 27 職種と、全体の 45% を占める。

(パターン)

図表 - 13 量的バランスと質的バランスの組み合わせ

| | 量的バランス | 質的バランス | | 該当する職種 |
|------|--------|--------|----|---|
| | | 経験 | 資格 | |
| パターン | | | | 該当なし |
| パターン | | × | × | [23職種] 003 管理職 (事務系)、005 管理職 (サービス系)、 006 店長、007 総務、008 経営企画、 009 営業事務、010 管理事務、012 貿易事務、 015 医療事務、16 企画、018 マーケティング、019 商品開発、 020 商品企画、029 研究開発 (電気・電子)、 030 研究開発 (機械)、047 ビジネスアプリケーション系SE、 048 データベース系SE、051 プログラム、 052 サポートエンジニア (ソフト)、057 公認会計士、税理士など、 058 キャラクター、CGデザイナー、 059 グラフィック、エディトリアルデザイナー、060 経営 会計コンサルタント |
| パターン | | | × | [10職種] 001 家政婦・ホームヘルパー、002 管理職 (技術系)、 011 国際業務、014 商品管理、 038 技術開発 (建築・土木・プラント・設備)、 041 意匠設計、045 開発職 (ソフトウェア関連職)、 043 電気設備設計、 053 通信・ネットワークエンジニア、055 WEBコンテンツ企画・製作 |
| パターン | | × | | 該当なし |
| パターン | × | × | × | [27職種] 004 管理職 (営業系)、013 業務、017 販売促進、 021 営業 (法人新規)、022 営業 (法人固定)、 023 営業 (個人新規)、024 営業 (個人固定)、 025 セールスエンジニア、026 研究開発 (バイオテクノロジー)、 027 水産技術者、028 食品技術者、031 電気回路設計、 032 機械設計、033 機械設計、034 電気通信技術者、 035 制御設計、036 金型設計、037 化学技術者、 039 建築設計、040 土木設計、042 プラント設計、 044 CAD設計、046 コンサルティングSE、049 制御系SE、 050 ネットワーク系SE、054 画像処理、056 薬剤師 |

図表 - 14 需給ギャップのパターン一覧

| 職 種 | 需給 ギャップ *1 | 経験者 ギャップ | 資格条件 ギャップ | (単位：人) | | |
|-------------------------|------------------|-------------|--------------|--------|--------|----|
| | | | | 量的バランス | 質的バランス | |
| | | | | | 経験 | 資格 |
| 001 家政婦・ホームヘルパー | 27,170 | 406 | 642 | | | × |
| 002 管理職(技術系) | 31,259 | 2,823 | 4,974 | | | × |
| 003 管理職(事務系) | 307 | 1,258 | 2,399 | | × | × |
| 004 管理職(営業系) | 12,189 | 8,050 | 12,783 | × | × | × |
| 005 管理職(サービス系) | 9,870 | 743 | 359 | | × | × |
| 006 店長 | 224 | 4,627 | 3,350 | | × | × |
| 007 総務 | 7,412 | 3,153 | 6,039 | | × | × |
| 008 経営企画 | 10,742 | 726 | 317 | | × | × |
| 009 営業事務 | 5,414 | 1,889 | 6,835 | | × | × |
| 010 管理事務 | 2,846 | 2,231 | 2,442 | | × | × |
| 011 国際業務 | 10,289 | 2,780 | 7,102 | | | × |
| 012 貿易事務 | 2,677 | 5,768 | 5,634 | | × | × |
| 013 業務 | 4,290 | 2,974 | 833 | × | × | × |
| 014 商品管理 | 3,301 | 2,290 | 456 | | | × |
| 015 医療事務 | 23,626 | 762 | 791 | | × | × |
| 016 企画 | 29,754 | 315 | 2,863 | | × | × |
| 017 販売促進 | 2,333 | 4,172 | 5,362 | × | × | × |
| 018 マーケティング | 32,161 | 1,565 | 689 | | × | × |
| 019 商品開発 | 27,072 | 885 | 862 | | × | × |
| 020 商品企画 | 48,614 | 3,707 | 223 | | × | × |
| 021 営業(法人新規) | 89,535 | 42,140 | 32,325 | × | × | × |
| 022 営業(法人固定) | 39,037 | 12,095 | 12,722 | × | × | × |
| 023 営業(個人新規) | 47,362 | 12,938 | 21,265 | × | × | × |
| 024 営業(個人固定) | 9,252 | 3,136 | 1,690 | × | × | × |
| 025 セールスエンジニア | 22,522 | 15,236 | 13,116 | × | × | × |
| 026 研究開発(バイオテクノロジー) | 2,808 | 1,163 | 754 | × | × | × |
| 027 水産技術者 | 4,580 | 600 | 4,954 | × | × | × |
| 028 食品技術者 | 3,455 | 1,167 | 764 | × | × | × |
| 029 研究開発(電気・電子) | 3,570 | 1,646 | 598 | | × | × |
| 030 研究開発(機械) | 11,868 | 2,167 | 1,719 | | × | × |
| 031 電気回路設計 | 4,073 | 4,469 | 2,136 | × | × | × |
| 032 機械設計 | 9,382 | 11,610 | 3,690 | × | × | × |
| 033 マイクロ設計 | 3,042 | 2,543 | 1,092 | × | × | × |
| 034 電気通信技術者 | 2,647 | 3,106 | 3,519 | × | × | × |
| 035 制御設計 | 5,170 | 3,891 | 2,185 | × | × | × |
| 036 金型設計 | 3,645 | 2,727 | 685 | × | × | × |
| 037 化学技術者 | 10,583 | 9,209 | 8,282 | × | × | × |
| 038 技術開発*2 | 3,544 | 6,079 | 2,549 | | | × |
| 039 建築設計 | 11,996 | 19,776 | 20,032 | × | × | × |
| 040 土木設計 | 2,941 | 6,006 | 7,558 | × | × | × |
| 041 意匠設計 | 5,276 | 402 | 258 | | | × |
| 042 プラント設計 | 2,825 | 2,662 | 2,704 | × | × | × |
| 043 電気設備設計 | 1,003 | 448 | 1,468 | | | × |
| 044 CAD設計 | 6,244 | 6,493 | 5,229 | × | × | × |
| 045 開発職(ソフトウェア関連職) | 17,610 | 2,139 | 1,626 | | | × |
| 046 コンサルティングSE | 3,812 | 7,448 | 9,751 | × | × | × |
| 047 ビジネスアプリケーション系SE | 2,488 | 8,167 | 7,000 | | × | × |
| 048 データベース系SE | 896 | 7,619 | 1,917 | | × | × |
| 049 制御系SE | 2,734 | 4,920 | 2,831 | × | × | × |
| 050 ネットワーク系SE | 965 | 11,901 | 11,117 | × | × | × |
| 051 プログラム | 935 | 11,355 | 9,878 | | × | × |
| 052 サポートエンジニア(ソフト) | 2,422 | 3,648 | 2,354 | | × | × |
| 053 通信・ネットワークエンジニア | 6,792 | 1,298 | 4,116 | | | × |
| 054 画像処理 | 2,493 | 3,364 | 2,289 | × | × | × |
| 055 WEBコンテンツ企画・制作 | 686 | 111 | 2,194 | | | × |
| 056 薬剤師 | 10,795 | 3,203 | 9,179 | × | × | × |
| 057 公認会計士、税理士など | 781 | 2,934 | 5,315 | | × | × |
| 058 キャラクター、CGデザイナー | 18,092 | 2,587 | 2,482 | | × | × |
| 059 グラフィック、エディトリアルデザイナー | 8,800 | 4,504 | 2,464 | | × | × |
| 060 経営・会計コンサルタント | 14,777 | 6,624 | 7,816 | | × | × |

*1：需給ギャップ＝供給（求職）－需要（求人）

*2：038 技術開発（建築・土木・プラント・設備）

はギャップがプラス（供給が需要よりも多い）

×はギャップがマイナス（需要が供給よりも多い）

《 まとめ 》

求人・求職の全体像をみると、求職より求人が多い職種（人材不足の職種）が 27 職種、求職が求人より多い職種（人材過剰の職種）は 33 職種である。（参考参照）

求人倍率は、0.05 倍から 9.95 倍まで、職種毎に大きなばらつきがある。すなわち、職種ごとに求人・求職の「量」的なミスマッチが相当程度存在していると考えられる。

また、求職より求人が多く、いわゆる人材不足と考えられる 27 職種はもとより、量的には求人数を上回る求職者数がある 33 職種においても、実務経験及び資格が不足している実態を加味すると、60 職種すべてで「人材不足」になるとの結果を得た。

したがって、現在の求人と求職の関係においては、「量」的なミスマッチに加えて、「質」の面でのミスマッチが、全体に大きな影響を与えている可能性が高い。

特に、技術・設計関連、IT 関連をはじめとする高度な専門職・技術職や、営業職では、量的にも質的にも、人材の不足感が強い傾向にある。

他方、企画職・管理職をはじめとするいわゆるホワイトカラー系職種では、人材が過剰気味であるにもかかわらず、企業が必要とする実務経験や資格を個人が十分に持っていないこと、企業が求める人材の条件や個人の能力・適性に関する情報が必ずしも明確でないこと等のために、企業の採用が進まず、結果として「人材不足」の状態になっているという可能性が考えられる。

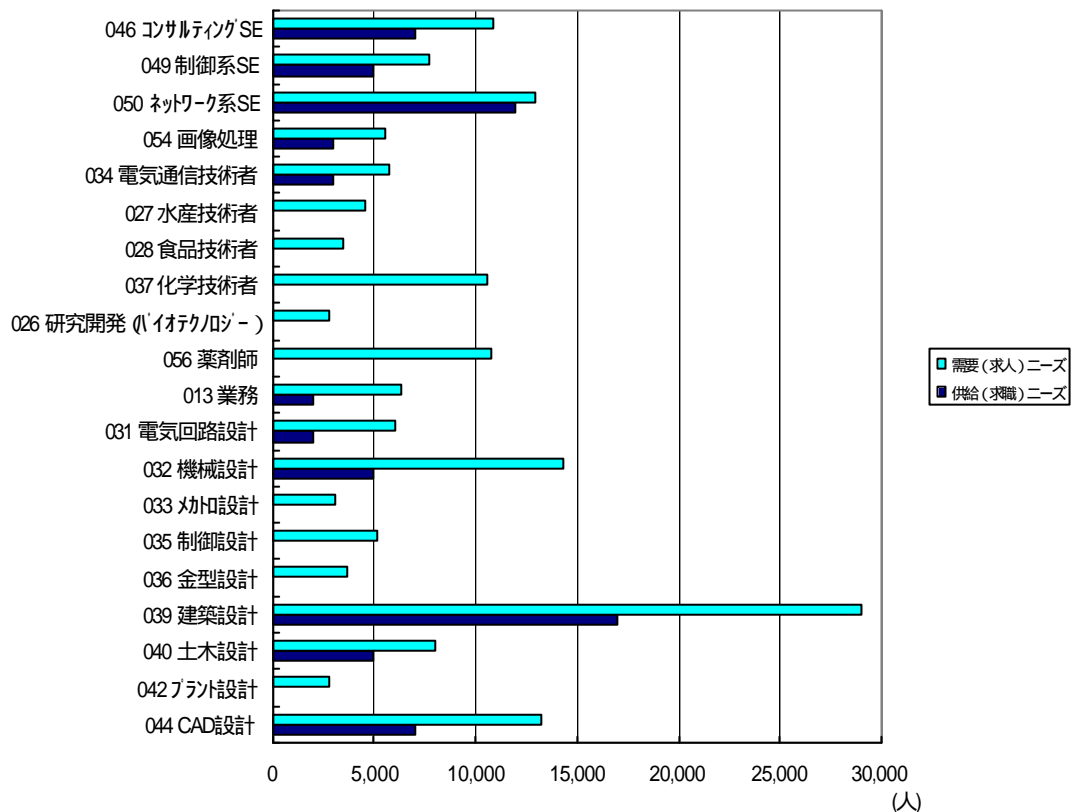
(参 考)

主要 60 職種のうち、27 職種については求人が求職を上回っている（人材不足の状態）。特に、専門的な人材へのニーズが高い。

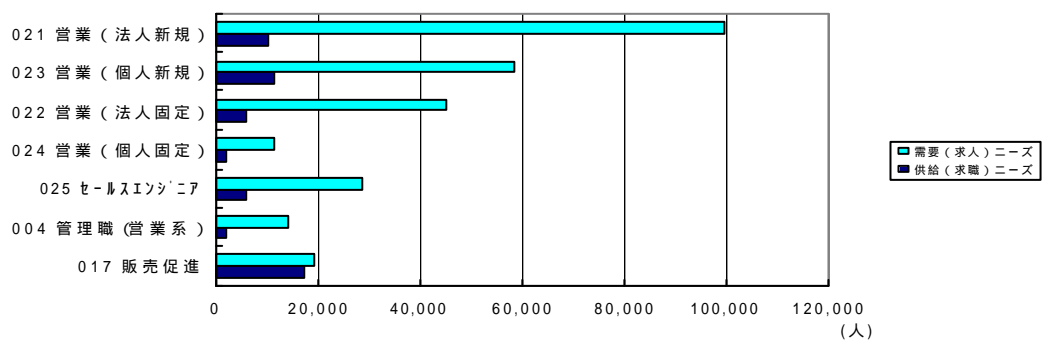
経済・社会・産業構造が変化しているにもかかわらず、制度・規制、企業・個人が変化に対応しきれていないことを表わしていると考えられる。

< 求人が求職を上回る職種 >

技術系



営業系



| | 求人ニーズ | 求職ニーズ | 需給ギャップ (求人 - 求職) | 求人倍率 |
|--------|---------|---------|---------------------|------|
| 営業系 | 276,230 | 54,000 | 222,230 | 5.12 |
| 技術系 | 166,480 | 68,000 | 98,480 | 2.45 |
| 27職種合計 | 442,710 | 122,000 | 320,710 | 3.63 |

< 求人倍率が低く、求職が求人を大きく上回る主な職種 >

